JAグループ兵庫　CO・OP 協同組合がよりよい社会を築きます

昭和24年4月7日　第三種郵便物承認　令和2年2月1日発行（毎月1回1日発行）通巻1360号

≫KYODO

協同

新時代をひらく協同
－持続可能な農業と地域社会のために－

2
2020
FEBRUARY

特集

JAで活躍し続ける職員を採用するために

～人物像の明確化と学生目線での採用活動～

大会決議実践REPORT

JAあいおいでは、地域の高齢者同士がつながりをつくり、健康に暮らし続けられるための活動を行っています。

≫詳細は裏表紙へ

協同
令和2年2月1日発行　通巻1360号
昭和24年4月7日第三種郵便物承認
編集兼発行人
兵庫県農業協同組合中央会　専務理事　浜田　充
〒650-0024 神戸市中央区海岸通1番地
☎078-333-5870 http://ja-grp-hyogo.ja-hyogo.jp/
制作協力 株式会社神戸新聞総合印刷
定価300円 購読料は賦課金に含まれています。

大会決議実践REPORT

～持続可能な農業と地域社会のために～

＼今月は／
JAあいおい

第34回兵庫県JA大会（平成30年11月）では「新時代をひらく協同」をメインテーマとして、
JAグループ兵庫が今後取り組むべき事項を決議しました。
地域の実態に応じてこの大会決議を実践するJAの取り組みを、SDGsを交えて紹介します。

元気な地域を目指して 高齢者の健康と生きがいづくり

本年度のウォーキングの様子

令和2年最初の「友相サロン」

JAあいおいでは、地域に密着した「共感」できる協同活動として、地域の人々を対象としたさまざまな活動を行っている。管内では高齢化と人口の減少が進んでいることから、地域に根差した組織として、高齢者が少しでも長く、健康を維持しながら地域に住み続けられるよう、地域貢献活動に力を入れている。

「年金友の会」では、会員がいつまでも健康で、人とのつながりをつくって楽しく過ごせるように、多岐にわたるサークル活動やイベントを実施している。

中でも代表的なイベントは年に1度の、地区外へ出向くウォーキングイベントだ。平成18年度から毎年行っており、本年度は「しまなみ海道」で開催した。参加者は124人に上り、観光バス3台に分かれて、早朝にJA本店を出発し、ウォーキングと観光を通じて親睦を深めた。

企画や運営は、担当課の職員を中心に、役職員全員が一体となって行う。参加者に少しでも楽しんでもらいたいとの思いから、なかなか入手できないお土産をプレゼントするサプライズ企画を用意するなど、工夫を凝らしている。イベントを通じて利用者に感謝の気持ちを還元したいという思いから、参加費も低めに設定している。

また、地域の人々が気軽に顔を合わせて話せる場として、月に1度、店舗に多くの利用者が来店する貯金日に合わせて「友相（ゆうあい）サロン」を開催している。利用者からは、「気軽に立ち寄ることができ、交流を深めやすい」と好評だ。

JAでは今後も、地域の人々に楽しみと憩いの場を提供して地域の活性化を図っていく。そして、SDGsの③「すべての人に健康と福祉を」、⑪「住み続けられるまちづくりを」の目標達成にも貢献しながら、JAのファンづくりにつなげていく。

SDGs（エスディージーズ）とは
「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称。貧困に終止符を打ち、地球を保護し、全ての人が平和と豊かさを享受できるようにすることを目指して、2015年、国連で採択された。「17の目標」と「169のターゲット」で構成されており、実現のために、先進国、途上国、政府、企業など、全ての関係者による連携した行動が求められている。